

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	人文社会特講
科目基礎情報						
科目番号	0139		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報電子工学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	「大学生のための 文学レッスン」 (三省堂)					
担当教員	森山 和子					
到達目標						
文学作品中の表現に注目しながら作品を読み解き、その作品について文章または口頭で解説をすることができることを目的とする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1 作品の理解	文学作品の内容をその背景も含めて正確に理解することができる		文学作品の内容について、一定の理解をすることができる。		文学作品の内容を理解することができない。	
評価項目 2 作品についての論理的な説明	文学作品の内容について、論理的な解説文を書くことができる。		文学作品の内容について、解説文を書くことができる。		文学作品の内容についての解説文を書くことができない。	
評価項目 3 作品の魅力を伝える	文学作品の魅力について、的確な表現を用いて口頭発表することができる。		文学作品の魅力について、ある程度口頭発表することができる。		文学作品の魅力について、口頭発表することができない	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2						
教育方法等						
概要	本講義では、近現代の日本文学を取り扱う。作品中の表現に注目をしながら、ジャンル分けされた作品をレッスンにそって読みを深めていく。また、その作品についての解説を文章で表現し、作品の魅力について口頭発表をする。					
授業の進め方・方法	三つの段階で授業を進めていく。第一段階：一週ごとに、10のジャンルに分かれた作品をレッスンにそって読んでいく。第二段階：第一段階で読んだ作品のうち一作品を選び、解説文を作る。作成した解説文を、グループで回し読みしコメントをもらう。第三段階：他者に紹介したい文学作品を選び、その作品の魅力について口頭発表する。(テキスト以外の文学作品を選んでよい)					
注意点	この授業は、半期で完結。前・後期に同様の内容を実施。 成績評価式：最終評価＝レポート40％＋解説文20％＋口頭発表20％＋グループワーク10％＋コメントシート10％					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス：授業の進め方 ジャンル1 「恋愛」		シラバスをもとに、授業の概要、達成目標、成績評価を理解できる。 レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		2週	ジャンル2 「ファッション」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		3週	ジャンル3 「学校」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		4週	ジャンル4 「家族」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		5週	ジャンル5 「自然」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		6週	ジャンル6 「異界」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		7週	ジャンル7 「病い」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		8週	ジャンル8 「戦争」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
	2ndQ	9週	ジャンル9 「外国」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		10週	ジャンル10「メディア」		レッスン①～③の作品を、レッスン課題にしたがって読んでいく。(個人ワークと講義) 授業の終わりにコメントシートを作成する。	
		11週	文学作品の解説文を作る		ジャンル1～10の作品の中から一作を選び、その解説文を600字程度にまとめることができる。	
		12週	解説文を講評する		解説文をグループ内で回し読みし、それぞれの解説文に適切なコメントをつけることができる。	
		13週	文学作品の魅力を語る (1)		他者に紹介したい文学作品を選び、その作品の魅力について口頭発表原稿の作成をすることができる。	
		14週	文学作品の魅力を語る (2)		作品の魅力を口頭発表を通じ、他者に伝えることができる。また、他者の発表へのコメントを適切にすることができる。	

		15週	レポートの作成	これまでの講義とワークを通して、「文学を読むということ」または、「文学作品の魅力」について、自らの考えを適切にまとめることができる。			
		16週	レポートの返却と解説	レポートの講評により、文学作品を読むこと、語ることについての理解を深めることができる。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	レポート	解説文	口頭発表	グループワーク	コメントシート	合計	
総合評価割合	40	20	20	10	10	100	
総合的能力	40	20	20	10	10	100	